



警察業務に有効な資格・技能をお持ちの方

第1次試験（教養試験・基礎能力検査）で加点できます

加点対象試験	分野	加点対象となる資格技能	基準	
警察官 採用試験のみ	武道 スポーツ経歴	柔道	初段以上	
		剣道	初段以上	
		空手	初段以上	
		中学校卒業後、日本オリンピック委員会に加盟（正加盟・準加盟・承認）している競技団体の競技で、日本選手権、国民体育大会、大学選手権、全国高等学校総合体育大会等の全国規模以上の大会（地方予選を経たもの）に選手（団体戦又は個人戦いずれか、補欠選手として登録された者も含む。）として出場		
警察官・警察 行政職員採用 試験共通	英語	実用英語技能検定	2級以上	
		TOEIC (Listening&Reading Test) (IP Testを除く)	500点以上	
		TOEFL (iBT Test)	48点以上	
		国際連合公用語英語検定	C級以上	
	中国語	中国語検定	3級以上	
		漢語水平考試	4級以上	
		中国語コミュニケーション能力検定	400点以上	
	韓国語	ハングル能力検定	準2級以上	
		韓国語能力試験	4級以上	
	ポルトガル語	外国語としてのポルトガル語検定 (旧国際ポルトガル語検定)	初級以上	
		外国人のためのポルトガル語検定	中級以上	
		ベトナム語	実用ベトナム語技能検定	4級以上
	タイ語	実用タイ語検定	3級以上	
	簿記	日商簿記	3級以上	
	情報処理	独立行政法人情報処理推進機構が実施する経済産業省認定の情報処理技術者試験（ITパスポート試験・情報セキュリティマネジメント試験含む。）		
	心理	臨床心理士		
公認心理師				

- 加点を希望する方は、第1次試験日に、合格証書などの証明書類の提出が必要になります。
- 複数の資格をお持ちの場合は、1分野1種類、合計2種類まで加点します。
- 加点点数は、各試験の受験案内に記載します。

採用サイト



詳細は各試験の受験案内、採用サイトをご覧ください

長野県警察採用フリーダイヤル
0120-314-031

資格加点制度について

下表記載の資格・技能を有する人は、第1次試験の教養試験又は基礎能力検査の点数に、段位等に応じて、1種類の資格・技能につき、8点から40点の加点を行います。

複数の資格を有する場合でも加点対象となるのは、1分野1種類、合計2種類までです。

加点対象試験	分野	加点対象となる資格・技能	加点基準	加点数	証明資料		
警察官採用試験	武道 スポーツ経歴	柔道（講道館認定）	初段	8点	講道館の段位証書（賞状）又は講道館館員証		
			二段	16点			
			三段以上	24点			
		剣道（全日本剣道連盟認定）	初段	8点	全日本剣道連盟の段位証書（賞状）又は全日本剣道連盟による証明書（各都道府県剣道連盟の発行したもので可）		
			二段	16点			
			三段以上	24点			
		空手（全日本空手道連盟認定）	初段	8点	全日本空手道連盟の段位免状（賞状）		
			二段	16点			
			三段以上	24点			
				中学校卒業後、日本オリンピック委員会に加盟（正加盟・準加盟・承認）している競技団体の競技で、日本選手権、国民体育大会（国民スポーツ大会）、大学選手権、全国高等学校総合体育大会等の全国規模以上の大会（地区予選を経たもの）に選手（団体戦又は個人戦のいずれか、補欠選手として登録された者も含む。）として出場	8点	①出身校による全国規模大会参加証明書（別記様式・ホームページからダウンロード可能） ②全国規模の大会の「大会名」「開催月日」「選手氏名」が分かる資料（賞状、パンフレット、新聞の切り抜き等） ③地方予選の「大会名」「開催月日」「選手氏名」が分かる資料（賞状、パンフレット、新聞の切り抜き等） ※①を提出しない場合は、②及び③を両方提出する（日本選手権、国民体育大会（国民スポーツ大会）、大学選手権、全国高等学校総合体育大会の場合は③の提出は不要）	
		警察官・警察行政職員採用試験	英語	実用英語技能検定	2級	8点	合格証明書、スコアレポートなど
					準1級	16点	
1級	24点						
TOEIC（Listening & Reading Test）（IP Testを除く。）	500点以上			8点			
	600点以上			16点			
	700点以上			24点			
	800点以上			32点			
TOEFL（iBT Test）	48点以上			8点			
	60点以上			16点			
	94点以上		24点				
国際連合公用語英語検定	C級		8点				
	B級		16点				
	A級		24点				
中国語	中国語検定		3級	8点			
			2級	16点			
			準1級以上	24点			
	漢語水平考試		4級	8点			
			5級	16点			
		6級	24点				
	中国語コミュニケーション能力検定	400点以上	8点				
		550点以上	16点				
		750点以上	24点				

加点対象試験	分野	加点対象となる資格・技能	加点基準	加点数	証明資料		
警察官・警察行政職員採用試験	韓国語	ハングル能力検定	準2級	8点	合格証明書、 スコアレポートなど		
			2級	16点			
			1級	24点			
		韓国語能力試験	4級	8点			
			5級	16点			
			6級	24点			
	ポルトガル語	外国語としてのポルトガル語検定 (旧国際ポルトガル語検定)	初級	8点			
			中級	16点			
			上級以上	24点			
		外国人のためのポルトガル語検定	中級	8点			
			上中級	16点			
			上級以上	24点			
	ベトナム語	実用ベトナム語技能検定	4級	8点			
			3級	16点			
			2級以上	24点			
	タイ語	実用タイ語検定	3級	8点			
			準2級	16点			
			2級以上	24点			
	簿記	日商簿記	3級	8点		合格証書、合格証明書	
			2級	24点			
			1級	32点			
	情報処理技術者試験		ITパスポート試験			8点	合格証書
			情報セキュリティマネジメント試験			16点	
			基本情報技術者試験			24点	
応用情報技術者試験			32点				
ITストラテジスト試験、システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、ITサービスマネージャ試験、情報セキュリティスペシャリスト試験、システム監査技術者、情報処理安全確保支援士試験			40点				
心理		臨床心理士		32点	合格通知、資格認定証、 資格登録証明書		
		公認心理師		32点	合格証書、登録証		

【加点方法等】

加点を希望する場合は、第1次試験日に、資格を証明する書類の原本（デジタル証明書を含む。スクリーンショットは除く。）とその写し（A4サイズにコピーし、大きいものは縮小すること。出身校による全国規模大会参加証明書は写し不要。）の両方を持参してください。写し（コピー）を提出していただき、原本は当日確認後返却します。

対象となる資格・技能は、第1次試験日に取得（合格）済みであり、証明書が発行されているものになります。

第1次試験日の試験の全体説明時に、必要書類の提出がなかった場合は、加点されません。

※ 加点対象となる資格技能・加点方法の詳細は、各採用試験の受験案内を必ず確認してください。



資格加点制度Q & A



《資格加点制度について》

Q 資格加点制度とはどういう制度ですか。

A 資格加点制度は、武道、語学、情報処理など、警察業務に有効な資格・技能を有する人を対象に採用試験の第1次試験（教養試験又は基礎能力検査）において、一定の加点を行うものです。

Q 加点対象となる資格・技能はどんなものがありますか。

A 武道、全国規模のスポーツ大会出場歴、語学、情報処理などです。
詳細は、採用サイト、各採用試験の受験案内をご確認ください。

Q 加点されるのは、どの試験ですか。採用試験のうち、どの試験で加点されますか。

A 長野県警察官・警察行政職員採用試験のすべての第1次試験（教養試験又は基礎能力検査）において、一定の加点を行います。

なお、「武道、全国規模のスポーツ大会出場歴」は警察官採用試験のみ、「臨床検査技師・薬剤師」は警察行政職員採用試験（鑑識法医）のみとなっています。

Q どのくらい加点されるのか教えてください。

A 資格・技能の段位等に応じて、1種類の資格・技能につき、8点から最大40点の加点を行います。

各資格・技能の加点点数は、採用サイト、各採用試験の受験案内をご確認ください。

《加点方法》

Q 加点してもらうにはどうすればいいですか。

A 第1次試験当日に、資格・技能を証明する書類の原本とその写し（A4サイズにコピーし、大きいものは縮小）を持参してください。写し（コピー）を提出していただき、原本は当日確認後返却します。

第1次試験日の試験の全体説明時に、必要書類の提出がなかった場合は、加点の対象にはなりません。

加点できる資格・技能は、1分野1種類、合計2種類までです。

また、原本及び写し（コピー）の両方が必要であり、どちらかを提出するだけでは加点されません。

第1次試験当日、忘れないように持参してください。

Q 来年3月に学校を卒業する時に資格を取得できるのですが、取得見込みでも加点できますか。

A 加点できるのは、第1次試験日までに取得（合格）済みであり、証明書が発行されているものになります。

Q 資格を取得していることを証明する資料は、何を提出すればいいですか。

A 各試験の第1次試験当日に、段位証書や合格証明書、スコアレポート等の原本とその写し（コピー）を提出してください。

全国規模のスポーツ大会への出場歴については、「出身校による全国規模大会参加証明書」（原本）等を提出してください。

詳細は、各採用試験の受験案内をご確認ください。

《武道・スポーツ経歴》

Q 柔道2段と剣道初段です。どちらの段位証書を持参すればいいですか。（両方加点になりますか。）

A 加点点数が高い柔道2段（16点）の段位証書とその写し（コピー）を第1次試験当日に持参してください（柔道と剣道は、同じ分野なので両方加点することはできません。）。

Q 柔道2段を持っていて、柔道で国体に出場したことがあります。どのように対応すればいいですか。

A 加点点数が高い柔道2段（16点）の段位証書とその写し（コピー）を第1次試験当日に持参してください（武道とスポーツ経歴は、同じ分野なので両方加点することはできません。）。

Q 大会出場歴が加点対象となるスポーツはどんなものがありますか。

A 加点対象となるスポーツは、日本オリンピック委員会に競技団体が加盟（準加盟・承認）している競技団体の競技となります。

Q 全国中学校体育大会に出場したことがありますが、加点されますか。

A 加点対象となるのは、「中学校卒業後」の大会出場経歴なので加点されません。

Q インターハイと国体の両方に出場したことがありますが、どのように対応すればいいですか。

A 加点できるのは、1分野1種類になりますので、複数回（複数の競技で）全国規模大会に出場していても1大会の出場歴のみです。

どちらかの出場歴を証明するために、「出身校による全国規模大会参加証明書」（原本）等を第1次試験当日に持参してください。

なお、成績の優劣で加点点数に差はありません。

Q 地区大会がなく「推薦」で全国大会に出場したことがありますか、加点されますか。

A 加点されません。

必ず「地区大会を経たもの」になります。

なお、地区大会を経ずに基準タイム等をクリアして、全国規模大会に出場した場合も加点されません。

Q 世界大会に出場したことがありますか、加点されますか。

A 加点対象となるのは、「全国規模以上の大会」なので、日本オリンピック委員会に競技団体が加盟（準加盟・承認）している競技で、「地区予選、全国大会を経た上で出場したもの」であれば加点されます。

《語学》

Q 英検2級、TOEIC800点です。両方とも加点されますか。

A 同一言語（分野）なので、両方加点することはできません。

加点点数が高いTOEIC800点（32点）のスコアレポートとその写し（コピー）を第1次試験当日に持参してください。

Q TOEIC600点、中国語検定準1級です。両方加点されますか。

A 異なる言語（分野）なので、両方加点することができます。

加点点数は、TOEIC600点（16点）と中国語検定準1級（24点）で合計40点となります。

両方の証明資料とその写し（コピー）を第1次試験当日に持参してください。

Q IPテストでTOEIC600点のスコアですが、加点されますか。

A 加点対象となるのは、公開テストのスコアなので、加点されません。

《簿記》

Q 全商(全国商業高等学校協会主催)簿記2級を持っていますが、加点されますか。

A 加点対象となるのは、日商簿記（日本商工会議所主催）のみのため、加点されません。

《情報処理》

Q 日本情報処理検定協会の情報処理技能検定2級を取得しましたが、加点されますか。

A 情報処理については、情報処理推進機構（IPA）が実施する情報処理技術者試験（ITパスポート及び情報セキュリティマネジメント試験を含む）に限りますので、加点されません。